

2023 年度事業報告

定款に定める事業内容

- (1)作業療法の専門的知識および技能を通じて、北海道における医療および福祉の増進に寄与する事業
- (2)作業療法に関する最新の学問的成果および先進技能を普及させ、また奨励振興する事業
- (3)作業療法士の教育機関の教育育成に協力し、もって作業療法士の資質向上に寄与する事業
- (4)作業療法に関する会誌等刊行物の発行に関する事業
- (5)作業療法の学会、研修会、講習会等の開催に関する事業
- (6)作業療法の調査研究に関する事業
- (7)内外の関連学術団体と連絡し協力する事業
- (8)作業療法士の社会的地位の向上に関する事業
- (9)その他法人の目的を達成するために必要と認める事業

上記の事業内容を基に下記のとおり各部局が事業を行った。

令和五年度は、新々5ヵ年行動計画の参年目、従来からの目標である「人を育て遺してゆく」に対し、現執行部が7期14年と長期化していることに伴いスタッフが高齢化していることから、様々な場面で次、次の次の世代を育てて遺してゆくことを中核に位置付けてきた。

また、従来からの「作業療法士不在地域ゼロ作戦」は、理学療法士会や言語聴覚士会とともに北海道リハビリテーション専門職協会において一層重点化し、加えて感染法上は五類感染症に位置付けられた COVID-19 への対策として、当会の事業も少しずつではあるが確実に対面での事業開催に舵を切り、さらなる充実と満足につながる事業を実施した。

特に、第53回北海道作業療法学会が、昨年度に引き続きwebと現地参加のハイブリッド形式で開催できたことは、今後の学会の在り方に大きな影響を与える事業として大変喜ばしいことである。

また、正月には5年ぶりに新年交礼会を開催することができ、北海道、道医師会などの関連団体、多くの国会・道議会議員のご列席も賜り、作業療法ならびに作業療法士の存在を示すことが出来たのは素晴らしいことであった。会員諸氏の理解と協力に心より感謝申し上げる。

【事務局】

[総務部]

1.会議運営

- ・定期総会：2023年6月24日

・定例理事会：年3回

第1回 4月22日、第2回9月16日、第3回 3月15日

・臨時理事会：年4回

第1回（電磁的）5月21日、第2回6月24日、第3回12月1日、第4回1月24日

・常任理事会：年1回開催

第1回 2月16日、

・三役会：年5回開催

第1回 4月22日、第2回 9月14日、第3回 12月1日、第4回1月24日、第5回 3月13日

2. 会員基本データの保守・管理

3. 定期刊行物の発送及び保管

・士会ニュース（隔月発行）の発送：年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

4. 公文書接受・発行：渉外関係、道士会部局員等委嘱状

5. 会員向けのZoomアカウントの保守・貸出管理（2023年度15回）

6. 慶弔：祝電24件：養成校入学式・卒業式 各12件、他2件、弔電1件

[財務部]

1. 2023年度予算執行の管理

2. 2023年度中間決算

3. 2023年度収支決算書の作成

4. 2024年度予算案の作成

5. 会計事務所との打合せ

【渉外部】

1. 行政、他団体関連事業等への協力・提言

2. 日本作業療法士協会・都道府県作業療法士連絡協議会との連携

3. 令和6年新年交礼会の開催：2024年1月12日（金）18:30～20:30 札幌グランドホテル「玉葉」
来賓出席 53名 士会役員等出席 31名 計 84名、ご祝儀 48万円

【学術部】

[編集委員会]

1. 2023年度[作業療法の実践と科学]の企画・編集・発行

1) 電子版発刊：5月末日（2号）、8月末日（3号）、11月末日（4号）

2) 冊子版：2024年2月に発刊、3月発送

2. 投稿論文促進の取組み継続

1) 第53回学会優秀演題発表者、論文化推奨者へ投稿促進のお手紙を送付

- 2) ニュース(毎号)に、投稿論文募集の案内、PSOT 掲載論文のタイトル等の掲載
 - 3) X に発刊のおしらせ、投稿募集を掲載（毎月第一月曜日に投稿）
 - 4) 投稿規程、執筆要領の検討
 - 5) 査読システムの検討
 - 6) 広報用チラシの作成と配布
3. 優秀論文賞の選考審査
- 1) 2022 年最優秀論文賞の表彰（賞状、副賞授与）
 - 2) 2023 年最優秀論文賞選考・決定

[学術課]

1. 学術研究助成金について
 - 1) 2024 年度学術研究助成金の募集・選考審査：応募 3 件
2. 自助具コンテストについて
 - 1) 2023 年度自助具コンテストの募集・選考審査：応募 24 件

【教育部】

研修会の開催や北海道作業療法士会認定会員研修施設を整備し、会員が研鑽できるようにした

[養成教育課]

- 1) 研修
 - ・研修会は土日だけではなく平日にも開催をし、55 回の研修会を開催できた
 - ・新人研修会を中枢神経疾患、運動器疾患、高齢期疾患の 3 分野 10 回ずつ実施した
 - ・認知症アップデート研修会は、日本作業療法士協会での事業が中止となったが、重点課題研修として開催した
 - ・年会費未納者や非会員の受講費一般扱いを徹底した

<研修会の分類と回数>

- | | | |
|----------------------------|-----|----------|
| ① 北海道作業療法士会主催研修会 | 1 回 | |
| ② 新人研修会(中枢・運動器・高齢期/オンデマンド) | | 各分野 10 回 |
| ③ 現職者共通研修会 | 9 回 | |
| ④ 現職者選択研修会 | 4 回 | |
| ⑤ MTDLP 基礎研修会 | 2 回 | |
| ⑥ MTDLP 事例検討会 | 4 回 | |
| ⑦ MTDLP 書き方研修会 | 1 回 | |
| ⑧ 重点課題研修 | 2 回 | |
| ⑨ 臨床実習指導者講習会 | 2 回 | |

2) その他

- ・ホームページの更新
- ・道士会ニュース記事記載

- ・事例登録の手続き管理
- ・生涯教育基礎ポイントの管理
- ・SIG 登録の手続き管理

[生涯教育課]

- ・北海道作業療法士会認定会員研修施設の更新作業を継続した

【調査部】

1. 多部局と連携した会員外への調査の検討（新規）：養成校卒業生への UTURU 調査実施
2. X、ホームページの解（継続）
3. 講習会決済の解析（継続）
4. 他部局が行う調査の実態把握および他部局からの調査依頼への対応（継続）：モバイルルーターアンケート調査などを実施

【広報部】

1. 会員外向け情報発信、他部局との協業
 - 1) 作業療法士志望者へ UTURU15 号を編集発行、SNS 広告 (TikTok) の制作：テレビ放映での作業療法と作業療法士に関する啓発として、北海道作業療法士会テレビ CM の制作 (2023 年 9 月 15 日～25 日放映)、「作業療法の日」に合わせ北海道文化放送「みんなのテレ」内での告知 (2023 年 9 月 25 日放映)
 - 2) 小・中学生向けの啓発方法の検討、情報収集を継続
 - 3) OT マンガの使用拡大の継続検討
 - 4) 既存媒体の管理、補充 (リーフレット・ノベルティグッズ) ノベルティグッズは新たに付箋を製作
2. 会員向け情報発信、支部広報部との協業
 - 1) 道士会ニュース (奇数月) 年 6 回の編集発行、web データのホームページ掲載
 - 2) ニュース Web 化への取り組み継続 (外部制作者からの情報収集、課題整理)
 - 3) 支部広報部との Web 全体会議にて各支部広報活動および支部メールの運用情報を共有、ホームページ (支部ページ) の活用方法を検討。道士会ニュースでは共同企画を継続
3. 会員内・外向け共通の情報発信と他部局との連携
 - 1) 道士会公式 X では、投稿管理、活用広報 (登録促進動画含む)、発信促進、調査部とのホームページ流入解析を実施
 - 2) ホームページにおける情報掲載および更新作業を実施
 - 3) リーフレットや UTURU における流入解析を継続
 - 4) 刊行物に使用するデータの収集と更新 (UTURU インタビューページ、ニュース掲載賛助会員 PR 広告、養成校情報一覧)
4. 道士会事業 (主に画像) データの保存管理、提供

5. 広報関連ガイドラインの管理、運用

【事業部】

新5カ年計画を鑑みて、次年度事業計画を立て、一般市民に向けた公益的活動、OT志望者を増大のための啓発活動を継続した。また、他職能団体への「生活行為」を通して作業療法啓発を継続し、研修会を開催した。

1. 公益的活動:

- 1) いきいき健康福祉フェア 2023 10/13~10/15: ポスタ展示、講演(健康体操、認知症に対する作業療法)にて参画した
- 2) 北海道医療技術者団体連絡会議主催(医技連)のパネル展は中止となった

2. 啓発活動

- 1) 道内高校に配布用の作業療法紹介動画を作成した: 配布可能な啓発動画を作成し当会ホームページにアップロードした
- 2) 一般市民向け作業療法啓発リーフレット作成: リーフレット草案を作成し継続中である
- 3) 「作業療法の日」啓発: 新規会員に啓発クリアファイルを配布

3. 研修事業(作業療法啓発・アドバンス研修)

- 1) 生活行為啓発関連研修 3職種研修会 令和6年3月8日(金)実施

4. 支部連携強化: 連携強化及び課題共有に向けて支部事業部長と支部事業部間会議開催: 3月18日実施。感染対策でイベント実施が困難な中、各支部でのHPやリモート環境を活用した啓発活動を確認した

5. 追加事業

- 1) OT啓発イベントに利用可能なアプリ開発を行い、いきいき福祉健康フェアで使用した。活用について継続検討
- 2) ミニさっぽろを中心とした、児童用ノベルティ(キャラクタークリップ)を作成

【制度対策部】

1. 診療報酬情報の提供: 診療報酬改定研修会を実施
2. 診療報酬相談・福利相談への対応: 診療報酬相談・福利相談、問い合わせとも無し
3. 団体傷害保険の管理、運営: Chubb 損害保険株式会社による団体総合補償制度費用保険(WIZ)にて1,300名で契約更新
4. 会員特典無料開放研修会の開催、情報提供: 令和6年3月14日(木)に「令和6年度診療報酬改定研修会」として実施し、会員114名が参加。
5. みらいカフェ開催: 若手の会員向けに道士会ニュース令和5年9月号において「キャリア形成・ライフプラン」をテーマに対談形式で開催。養成校学生を対象に学生一道士会役員との座談会という新しい事業も開始
6. 新人ガイダンス・新人歓迎会実施: 令和5年4月22日(土)にオンラインにて実施、新人作業療法士66名が参加。レクリエーションや支部ごとの顔合わせで交流を行う
7. 学生への入会促進事業
 - 1) 入会リーフレット・フライヤーの管理、作成と配布: 域で働くことに関するフライヤーを令和

5年11月、入会リーフレットを令和6年1月に配布

- 2) 道士会ニュース配布(2号)：令和5年9月号(みらいカフェ掲載号)、11月号(会員メリット掲載号)配布
- 3) アンケートの実施：学生版みらいカフェ開催の際に、一部の養成校で試験的に実施
- 4) 接点作りとして座談会、研修会、情報提供等を検討する：在学中から道士会への認知を高めることを目的に、養成校学生を対象に学生版みらいカフェとして道士会士役員との座談会を開催。
令和5年11月29日(水)に北海道文教大学学生3名、令和6年1月19日(金)に函館市医師会看護・リハビリテーション学院学生3名を対象とし、フライヤーを作成
8. 養成校・養成校連絡協議会との連携：学生への組織強化に関する印刷物やノベルティの配布、学生数の調査やアンケート実施にご協力を頂く

【地域部】

[企画運営課]

1. 「地域支援事業に資する人材育成研修会」の企画運営
 - 1) 地域支援事業に資する人材育成研修(ベーシック)：令和6年2月26日実施 参加者10名
 - 2) 北海道作業療法士会と北海道歯科衛生士会との共同研修会：参加者不足のため中止
2. 認定市町村アドバイザー養成と登録推進：延べ登録者数17名
3. 地域ケア会議同行研修事業管理運営
4. OJT研修会修了者の情報管理
5. 「地域支援事業に資する人材育成研修会」受講者の情報管理
6. 士会認定市町村アドバイザーの登録管理と事例報告の管理
7. 道士会ニュースへの寄稿：9月号、3月号
8. 自動車運転を中止した脳卒中当事者に対する地域移動(生活)支援研修会：令和6年3月30日実施 参加者36名

[地域推進課]

1. 士会受託市町村事業および士会受託地域ケア会議の把握(地域作業療法推進に関する企画書・報告書の管理)
2. OJT研修会修了者の情報管理
3. 「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する作業療法士人材育成研修会」受講者の情報管理及びその活用
4. 認定市町村アドバイザーの登録管理と事例報告の管理・活用
5. 地域作業療法推進のための普及活動
 - 1) 道士会ニュースへの寄稿 5月号、11月号
 - 2) 道士会ホームページに「地区長名簿」「市町村担当者名簿」「市町村アドバイザー認定者名簿」の更新
6. 「地域包括ケアシステムにおける作業療法の推進に向けて実践者の調査事業」を年2回、会員向けに実施

7. 地域部・支部連と情報共有のための合同会議を実施(3月18日)
8. その他、地域作業療法推進に関連する事業の情報管理

[認知症施策推進課]

1. 広報事業

- 1) 実践事例集の発刊：Ver1.2(令和4年度追加版)発刊 4,000部(令和5年3月)、発送同年8月
- 2) 道士会ニュースへの寄稿：7月号、1月号

2. 人材育成事業：認知症研修会：2023年9月9日(土) 13:00～17:00

3. 調査事業・渉外事業：認知症カフェ視察：2023年10月27日(金) 10:00～11:30 みなみカフェ in 厚別

4. その他：日本作業療法士協会事務局 地域社会振興部 地域事業支援課 認知症対策班主催意見交換会：2024年1月20日

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

1. 2023年度 第13回定期総会開催・運営：6月24日 北海道文教大学において開催
2. 2024年度 第14回定期総会開催準備

[学会評議委員会]

1. 2023年度 第53回学術大会(現地+Webハイブリッド開催とオンデマンド配信)の支援
2. 2024年度 第54回学術大会の支援
3. 2025年度 第55回学術大会の大会長候補の選出
4. 「学会運営手引き(マニュアル)」の継続的な見直し
5. 2023年度 第53回学術大会の参加者の動向調査(学会実行委員会)
6. 北海道作業療法学会法人化についての検討

[企画調整委員会]

1. 住宅改修ワーキンググループの運営：協力施設もあったが、コロナ禍となり稼働を休止となっていた。今後は事業を再開するとともに、他施設への協力要請を再開する。また、住宅改修だけでなく福祉用具なども事例収集に取り入れることを検討
2. 特別支援教育ワーキンググループの運営：ワーキンググループから常設委員会の設置
3. 新5カ年計画への対応
 - 1) 障害者総合支援法及び発達領域の関係法令(児童福祉法及び教育法)への提言
 - 2) 特別支援教育等への作業療法士の参画推進：常設委員会と協力しながら推進していく
4. 遠隔研修(オンラインおよびオンデマンド研修)の実施準備：オンラインやオンデマンドの研修会を導入済み

5. 理事会で決議された議案への対応：要請があった際に随時対応を行なっている

[規約検討委員会]

1. 既存の規約・規程の整理
2. 定款とその他規程のすり合わせ
3. 新たに必要な規約の調査
4. 謝金規程の見直し

【特設委員会】

[災害対策委員会]

災害リハビリテーションの普及に向けて、各支部との連携や士会員への啓蒙活動に重点を置き平時からの人材育成、連携強化に努めた

1. 災害対策の啓発、体制準備
 - 1) 日本作業療法士協会災害シュミレーション訓練の実施
 - 2) 能登半島地震へ北海道 JRAT 要員として現地での活動：令和 6 年 3 月 31 日現在、北海道から計 9 隊の災害リハビリ医療支援活動を実施、うち作業療法士 8 名。4 月は北海道から 2 隊派遣予定、うち作業療法士 4 名
2. DO-RAT：北海道災害リハビリテーション推進協議会会議への参加および講習会の開催：HARP 主催 災害リハビリテーション支援に関する研修会開催（令和 6 年 1 月 27 日）
3. DWAT：北海道災害福祉支援ネットワーク会議への参加および派遣体制準備：DWAT 登録研修およびリーダー研修の参加、令和 5 年度現在北海道作業療法士会員 5 名登録済
4. 第 53 回道作業療法学会学術大会 SIG にてワークショップ開催（6 月 23 日）

[白書委員会]

1. アンケートのデータ収集（5 月まで）
2. アンケートのデータ集計・分析
3. アンケートに基づく白書の執筆・編集
4. 「北海道作業療法白書 2022」発刊

【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会の開催：2 回
2. 各支部の年度活動計画・報告、年度予算計上・決算報告及び活動状況の集約と調整
3. 理事会と各支部の連絡調整
4. 各部局・委員会と支部間の連絡調整
5. 各部局が立案した事業の把握および連携
6. 地域作業療法推進事業の把握および調整

7. 生活行為向上マネジメント講習会の協力開催
8. 地域部との連携
9. 次世代の担い手事業における講師バンク、依頼の調整、実績・資料等の蓄積

[札幌支部]

1. 会員情報の集約（名簿の更新、個人アドレス登録）、支部財務管理
2. 支部内会議（3回）、ブロック連絡会議・研修会・交流会の開催
3. 札幌支部施設間連絡会の開催
4. 広報誌の発行（年2回）
5. 道士会主催支部企画講習会、現職者共通研修会、現職者選択研修の運営
6. OT 啓発活動・いきいき福祉フェア・ミニさっぽろの実施
7. 外部関係機関への会員派遣
8. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、札幌市介護予防自立支援事業への参画

[石狩支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会・懇親会（新人歓迎会）お同日開催（春・冬）、支部3役会議（秋）、支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行3回
4. 道士会主催新人研修会高齢期領域の企画運営1回
5. 千歳健康祭りへの参加、地域包括との意見交換会
6. 石狩支部内講習会の企画運営1回
7. 石狩支部内業務状況調査・公表
8. 石狩地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への会員派遣
9. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センター、市町村担当との連携（石狩支部ニュースの送付）、地域ケア会議への参加、地域包括ケア会議専門部会参加、市町村の実態把握、市町村の新総合事業に向けての協力、組織化

[空知支部]

1. 会員情報の集約（メーリングリストの作成管理）、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行1回、役員用掲示板・連絡ツールの管理、支部交流会の開催
4. 現職者共通研修の運営協力
5. 外部関係機関への会員派遣
6. 啓発活動の企画 岩見沢健康まつりへの参加、新十津川町福祉フェアへの参加
7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、市町村の実態把握、各市町

村との連携、各市町村地域ケア会議参加

[後志支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議 2 回開催
3. 広報誌の発行 1 回
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修会の運営協力
5. 地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[日胆支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 地区報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行（年 2 回）、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修会の運営協力
5. リレーフォーライフ事業の参加、とまこまいキッズタウン 2023、こどもお仕事体験フェスタ in とみやこへの参加
6. 西胆振地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[道南支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会 2 回、支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行 3 回
4. 道士会主催研修会の運営
5. OT の日啓発事業の企画運営、NPO 祭りの参加（ポスター展示）、高校パンフレット配布
6. 各病院・施設における地域支援事業の把握、会員間における医療・介護・保健・福祉ネットワークづくり
7. 南渡島地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣、各団体後援協力
8. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加（鹿部町）、知内町介護予防事業への作業療法士派遣（HARP）、函館市介護予防事業への作業療法士派遣（HARP）

[道北支部]

1. 会員情報の集約（名簿作成、会員及び各部用 ML の作成・管理）、支部財務管理
2. 支部報告会・支部内会議の開催
3. 広報誌の発行 6 回、新人歓迎会・懇親会の開催（web 開催も含む）
4. 道士会主催新人研修の運営

5. 旭川健康まつりへの参加
6. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、旭川市地域リハビリテーション活動支援事業への参画（HARP へ依頼）

[十勝支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、ブロック会議の開催
3. 広報誌 2 回発行、新人歓迎会を zoom にて開催
4. 道士会主催新人研修会の運営 6 回
5. 作業療法の日啓蒙活動開催（スーパーダイイチ内）
6. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業への参画：地域ケア会議参加 帯広市介護予防事業への OT 派遣、部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[根釧支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議実施
3. 広報誌の発行、新人ガイダンス（zoom 開催）
4. 道士会主催現職者共通研修会の企画運営
5. くしろ健康まつり、釧路湿原マラソン救護員ボランティア、作業療法啓発事業への参加
6. 外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加、市町村予防事業への指導・協力

[網走支部]

1. 会員情報の集約（支部内の会員名簿の調査・管理）、支部財務管理
2. 支部内における情報伝達の整備、メーリングリストの整備
3. 支部内会議の開催
4. 広報誌の発行 1 回
5. 道士会主催新人研修会の運営 4 回
6. 支部事業部主催研修会の開催、健康まつりへの参加
7. 外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議への参加、介護予防事業への OT 派遣